

アクションプラン取組一覧表

大作戦1 広報プロモーション大作戦

作戦1 We Love とよかわ作戦

番号	取組名	取組概要	主管組織	当初計画(上段)				平成27年度実施内容(上段)
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				進捗状況(下段)				
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	自己評価・課題(下段)				
1	トップセールス	情報発信力のある市長等があらゆる機会を捉えて、豊川市の魅力を市内外へ売り込む。	企画政策課	継続	継続	継続	継続	・シティセールスやトップセールスの重要性を、広報・シティセールス推進委員会議で周知し機会の創出を促した。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。
2	ふるさと観光大使の任命	観光協会が平成21年度からZIP-FMの小林拓一郎氏を観光大使に起用しており、豊川市の魅力を発信してもらう。	商工観光課	継続	継続	継続	継続	【観光基本計画:「観光大使によるPR活動」として継続実施】 ・観光協会と連携し、観光大使であるZIP-FMミュージックナビゲーターの小林拓一郎氏により豊川市の魅力を広く発信した。 ・新たな観光大使を委嘱するため、観光協会と連携し豊川市出身の著名人と交渉を行った。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・知名度がある人物や発信力のある人物など、ふるさと観光大使を増やす必要がある。
3	マスコットキャラクターの活用	平成24年9月にいなりんを豊川市宣伝部長に任命した。市の行事に参加したり、チラシなどにイラストを掲載したりして、いなりんの知名度を活かした情報発信を行う。	企画政策課	実施(取組開始)	継続	継続	継続	・新たにいなりんを宣伝部特命係長、いなりんを宣伝部特命課長に任命し、いなりん豊川市宣伝部長兼おもてなC部長と共にイベント出演や各種パンフレット掲載等の多様なPR活動を展開した。
				実施(取組開始)	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・行政の活用方法について、観光協会のPR戦略と整合を図る必要がある。
4	県外でのPR強化	トップセールス、ホームページ、新聞広告、雑誌、ラジオ、テレビ、特産品販売などにより、県外のターゲットを意識したプロモーション活動を増加充実させる。	企画政策課、 商工観光課	継続	継続	継続	継続	【観光基本計画:「各種メディアを活用した戦略的なPRの展開、市内外におけるプロモーション活動の展開」として継続実施】 ・観光協会と連携して首都圏及び近隣地域におけるプロモーション活動を実施した。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・首都圏でのプロモーション活動及び特産品販売を含めた活動体制の構築が必要である。
5	市制施行70周年記念事業の開催	平成25年6月に70周年を迎える豊川市の一層の発展を期する機会として、「とよかわ 人の輪 地域の輪」をキャッチフレーズに各種事業を盛り上げる。	企画政策課	実施(取組開始)	継続	完了	完了	完了
				実施(取組開始)	継続	完了	完了	完了
6	プロモーションビデオの活用	豊川市の魅力をPRするためのビデオ映像を活用し、多くの方に印象に残る情報発信を行う。	秘書課、企画政策課、中央図書館	継続	継続	継続	継続	・広報とよかわに動画を導入した。【秘書課】 ・フェイスブックで動画を活用した。【秘書課】 ・作成したプロモーションビデオを会議や研修などで上映し、豊川市のPRを行った。【秘書課】 ・地域情報ライブラリーにより、市内の観光地やイベントの映像を作成し上映した。【中央図書館】
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・今後も制作したプロモーションビデオをPRし、さらなる活用が必要である。【秘書課】
7	特産品ギフトカタログの作成	地域の特産品を選定しギフトカタログとしてまとめ、土産や贈答などのニーズを掘り起こしたりネット販売に対応したりして、特産品のブランド力を高める。	農務課、商工観光課	検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	実施(取組開始)	・市内の農業関係団体で組織する農政企画協議会で新商品の開発やブランド化などについて検討した。【農務課】 ・観光協会のブランドプロジェクト事業との連携及び支援について検討した。【商工観光課】
				検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	・計画どおり実施できたと評価する。 ・ブランドプロジェクト事業との連携の中で、特産品ギフトカタログを含めた重点PR方法などの検討が必要である。 ・平成28年度より「とよかわブランド」に認定された素材、製品等の販路開拓事業への支援を実施する予定。
8	旅行会社と連携してとよかわ堪能ツアーを実施	東三河広域観光協議会により豊川市を行程に組み込んだツアーを提供し、豊川市を楽しんでもらう。	商工観光課	継続	継続	継続	継続	【観光基本計画:「東三河広域観光協議会との協働、愛知県観光協会との協働」として継続実施】 ・東三河広域観光協議会により豊川市を組み込んだツアーを実施した。 ・県観光協会が行う旅行会社との商談会において、市観光協会と連携しPRを行った。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・ツアーが魅力ある内容にならないと、旅行会社との連携は難しい。

# アクションプラン取組一覧表

## 作戦2 わかりやすい情報提供作戦

番号	取組名	取組概要	主管組織	当初計画(上段)				平成27年度実施内容(上段)
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				進捗状況(下段)				自己評価・課題(下段)
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
1	カラー、デザインの統一	効果的な情報発信のため、統一したカラーやデザインを積極的に用いる。 ・豊川市のイメージカラー ・目を引くデザイン ・効果的なPR手法(名刺、封筒、FAX用紙、メールサイン)	秘書課、企画政策課	実施(取組開始)	継続	継続	継続	・市長室への来訪、各種報告会、イベントなどでインタビューボードを活用した。【秘書課】 ・名刺や印刷物による活用を推進した。【企画政策課】
				実施(取組開始)	継続	継続	継続	
2	市役所全職員の広報パーソナ化	広報の必要性や重要性を理解して情報発信できる職員を育成する。 ・意識改革研修 ・危機管理研修 ・豊川市検定(職員の必須知識) ・広報戦略・プレゼンテーション研修	秘書課、人事課	検討・調整・準備	実施(取組開始)	継続	継続	・広報・シティセールス推進員会議において、情報発信をテーマに豊橋観光コンベンション協会事業推進部次長 鈴木恵子氏を招いて講演をしていただいた。 ・危機管理広報の専門家を招き、危機管理広報研修を初めて開催した。【秘書課】 ・「新・豊川市人財育成基本方針」(平成25年3月策定)において、求められる職員像“3C”の一つとして、“City Sales Person(シティセールスパerson)”を位置付け、新規採用職員研修のテーマで取り上げるなど達成に向けた取組を実施した。【人事課】 ・B-1の意思を引き継ぎ、毎週水曜日及び金曜日を「いなりんのクールビズデー」と位置づけ、職員に「いなりんポロシャツ」等の着用を推進した。【人事課】 ・市Facebookなどで行政情報や事業のPRを行う際、SNSに掲載する写真に担当職員などを登場させ、職員の広報パーソナ化のきっかけ作りを行った。【秘書課】
				実施(取組開始)	継続	継続	継続	
3	市ホームページの充実	アクセシビリティに配慮した分かりやすいホームページをつくり、行政情報の見える化を推進する。	秘書課	実施(取組開始)	継続	継続	継続	・アクセシビリティへ配慮しながら、市ホームページの管理運用を行った。 ・計画どおり実施できたと評価する。 ・更なる情報の充実やシティセールスにつながる情報の更新が必要である。
				実施(取組開始)	継続	継続	継続	
4	広報部門の機能強化	広報担当の知識、技術、情報コーディネートの能力向上を図り、効果的な情報発信を行う。	秘書課	検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	・広報戦略プランやパブリシティガイドの運用を行い、広報機能強化に努めた。 ・広報アドバイザーを活用し、動画配信の強化に努めた。 ・計画どおり実施できたと評価する。 ・広報担当者のコーディネート能力などの向上を図る必要がある。
				検討・調整・準備	実施(取組開始)	継続	継続	
5	多様な広報媒体の活用	現在活用している広報媒体の効率的な運用とともに、新たな広報媒体の導入について研究し、情報を受け取る方を意識した情報発信を行う。	秘書課	検討・調整・準備	実施(取組開始)	継続	継続	・広報とよかわを全面リニューアルし、フルカラー化や動画の導入などを行った。 ・新たに広報大使制度を設置し、園子温監督に大使を委嘱した。 ・平成25年度に研究した結果をもとに、SNSの運用を進めた。 ・ケーブルテレビについて委託内容の見直しを行った。 ・情報誌「はなまる」と協働した広報を開始した。 ・計画どおり実施できたと評価する。 ・リニューアルした広報紙を活用する必要がある。 ・広報大使制度を活用する必要がある。 ・動画の効果的な活用を検討する必要がある。
				検討・調整・準備	実施(取組開始)	継続	継続	
6	歴史、文化、自然などを活かした観光案内表示	サイン整備計画に基づき、市内主要駅の観光案内看板や文化財説明看板などを整備し、来訪者の利便性を高める。	商工観光課、生涯学習課	継続	継続	継続	完了	【観光基本計画:「案内サイン等の整備」として継続実施】・宮路山標柱を設置した。【商工観光課】 ・平成26年度に事業完了。【生涯学習課】 ・計画どおり実施できたと評価する。 ・既存の現地案内サインと観光サイト及びマップとの連携の検討が必要である。 ・今後も説明看板未設置の指定文化財等について、看板設置の検討をする必要がある。【生涯学習課】
				継続	継続	継続	完了	
7	市民公開型GISの活用	ハザードマップや工事箇所など市民にとって有効な地図情報をインターネットにより広く配信する。	情報システム課	検討・調整・準備	実施(取組開始)	継続	継続	・平成25年4月から地図情報配信サイト「きらっと☆とよかわ!! ガイドマップ」を公開し運用を開始した。 ・バリアフリー設備情報等、市民の利便性向上につながるような地図情報を4件追加掲載できた。 ・豊川市のホームページ内の情報に、公開型GISの地図情報を併せて掲載することを促進し、市役所外へのPRと活用推進を図った。 ・公開からアクセス数は順調に伸びており、計画どおり実施できたと評価する。 ・市役所内外に対して広くPRし、活用を推進する必要がある。 ・今後も市民にとって有益と考えられる地図情報を選別し、配信する必要がある。 ・利活用を推進するため、市ホームページとの連携をより強化する必要がある。
				検討・調整・準備	実施(取組開始)	継続	継続	

アクションプラン取組一覧表

大作戦2 わがまち大作戦

作戦1 わがまち学ぼう作戦

番号	取組名	取組概要	主管組織	当初計画(上段)				平成27年度実施内容(上段)
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				進捗状況(下段)				自己評価・課題(下段)
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
1	シティセールスウェブサイト開設	ホームページにおいてシティセールス関係のページを開設・充実させ、旬な情報を多くの方に届ける。	企画政策課	実施(取組開始)	継続	継続	継続	・市ホームページ内に宣伝部長いなりんのページ内容を積極的に更新した。 ・計画どおり実施できたと評価する。 ・市ホームページでは統一の見出しとなるなど制約があるため、一般的なホームページと比較すると発信力が弱い。
				実施(取組開始)	継続	継続	継続	
2	豊川地域ポータルサイト「みてみん！」の活用	イベント情報や旬な情報をお知らせしたり、ユーザーにとって便利なコンテンツを用意したりして、魅力的なポータルサイトにしていく。	情報システム課、子ども課、教育委員会庶務課	継続	継続	継続	完了	完了 ・平成27年3月31日でサイトを閉鎖したため、「完了」とした。
				継続	継続	完了	完了	
3	シティセールス認定事業の公募	豊川市のイメージアップや知名度の向上につながる事業を広く取り組んでもらうために公募する。	企画政策課	検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	・制度について情報を収集した。 ・計画どおり実施できたと評価する。 ・推進するためには、担当部署の設置と人員確保が不可欠である。また、財源の確保と認定組織の設置が必要である。
				検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	
4	「さくら」をキーワードにした市のPR	「さくら」にまつわる施設やイベントを活かして、わがまち豊川市のイメージを高める。 ・桜トンネルや御津山などの桜まつり ・桜並木の育成保存 ・桜のある公園整備 ・桜をテーマとした展覧会 ・桜ヶ丘ミュージアム周辺の薄墨桜	商工観光課、道路維持課、公園緑地課、文化振興課、	継続	継続	継続	継続	【観光基本計画:「桜のガイドマップの作成」として継続実施】・桜のガイドマップを作成した。 ・桜まつりを観光協会と連携して開催した。【商工観光課】 ・桜トンネル、佐奈川、音羽川、御津山、宝円寺、穴観音の開花状況を、ホームページに掲載し周知を行った。【商工観光課】 ・市内の公園に植栽されている桜の種類や開花時期について調査を行い、「花と新緑のみどころ案内」を発行した。【公園緑地課】 ・桜ヶ丘公園の淡墨桜の開花状況をホームページに掲載し、周知を図った。また、桜に関連する美術作品を積極的に収集した。【文化振興課】 ・計画どおり実施できたと評価する。 ・開花時期は毎年違いがあるが、効果的なPRを行うためにはタイミングが重要である。また、さくらのガイドマップ作成の検討が必要である。【商工観光課】
				継続	継続	継続	継続	
5	魅力再発見イベント	豊川市の魅力を多くの方に改めて知ってもらうためのイベントを開く。 ・とよかわ探検隊 ・メッセージ付きフォトコンクール ・観光ルートウォーキング ・豊川もの知り検定 ・ふるさと再発見講座	秘書課、商工観光課、生涯学習課	継続	継続	継続	継続	引き続き、ふるさとの魅力再発見を目的とした「きらっと☆とよかわっ！フォトコンクール」を実施した。【秘書課】 ・市内の施設を巡る「とよかわ探検隊」を2回実施した。【秘書課】 【観光基本計画:「観光のまちとしての市民啓発」として継続実施】・推奨観光ルートウォーキングを開催した。 ・とよかわ観光ものしり検定を実施した。 ・とよかわ観光資源探訪ツアーを実施した。【商工観光課】 ・地域の歴史や文化などについて掘り起こして紹介する「ふるさと再発見講座」を、三河天平の里資料館で4回開催した。 ・新版豊川の歴史散歩を活用し、「豊川歴史検定」を開催した。【生涯学習課】 ・計画どおり実施できたと評価する。 ・フォトコンクールは、応募者が固定化しつつあるため見直し、新たに広報とよかわのみんなの写真館での活用を図る。【秘書課】 ・とよかわ探検隊は、実施回数ではなく、しっかりとテーマを絞った運営を行う必要がある。【秘書課】 ・観光ルートウォーキングは、策定から6年経過するため、観光客の嗜好の変化に合わせてルート見直しなどを行い、魅力ある内容で開催することが重要である。
				継続	継続	継続	継続	
6	特色あるプラネタリウムの活用	全国的にも珍しいレーザーを使ったオーロラの再現や宇宙の知識を深めるプラネタリウム番組により、わがまちの魅力を際立たせていく。	中央図書館	継続	継続	継続	継続	・オーロラを再現できる機器を活かしてプラネタリウム番組を上映した。 ・計画どおり実施できたと評価する。 ・機器が老朽化している。
				継続	継続	継続	継続	

# アクションプラン取組一覧表

## 作戦2 わがまち輪となれ作戦

番号	取組名	取組概要	主管組織	当初計画(上段)				平成27年度実施内容(上段)
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				進捗状況(下段)				自己評価・課題(下段)
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
1	とよかわファンクラブの創設	豊川市のことに関心を持ち応援していただける方が集う場として組織し、自らまちの魅力を発信し、愛着や誇りを高められるようにする。	企画政策課	検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	・制度について情報を収集した。
				検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	・計画どおり実施できたと評価する。 ・推進するためには、担当部署の設置と人員確保が不可欠である。
2	市民提供の写真や動画の配信	市民参加型の情報発信を検討し、写真や動画をホームページに掲載していく。	秘書課	検討・調整・準備	検討・調整・準備	実施(取組開始)	継続	・広報とよかわのリニューアルに合わせて、市民参加型の写真掲載コーナー「みんなの写真館」を設置した。
				検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	実施(取組開始)	・計画どおり実施できたと評価する。 ・多くの提供があるように工夫していく必要がある。
3	おもてなし意識の醸成	豊川市に住んでいる人や訪れた人が感動するおもてなしの輪を広げます。 ・観光まちづくりゼミナール ・観光ボランティアガイド	商工観光課	継続	継続	継続	継続	【観光基本計画:「観光のまちとしての市民啓発」として継続実施】・観光まちづくりボランティア講座を開催した。 ・NPOと連携して観光まちづくりボランティア登録及び活用機会の創出体制を構築し、活用した。 ・観光協会が、豊川稲荷や御油の松並木資料館、牛久保地区、砥鹿神社でボランティアガイドを配置し、観光案内を行った。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・観光まちづくりを担うボランティアは、市民向けの観光情報を提供する取組みが重要である。 ・ボランティアガイドは、他の観光名所の案内もできるような人材育成が必要である。
4	e-モニター制度の実施	市民の意向を迅速に把握するためのコミュニケーションツールとして電子メールなどを利用し、市政に関するアンケートを実施する。	秘書課	実施(取組開始)	継続	継続	継続	・インターネットを利用したモニター制度「とよかわデジモニ」を立ち上げ、6回のアンケートを100人のモニターに対して実施した。
				実施(取組開始)	継続	継続	継続	・計画以上の調査を行うことができたことと評価する。 ・新規の応募者を増やし、幅広い意見の収集が必要であると考えている。
5	観光の広域連携	東三河地域で連携することで、豊川市の魅力のみならず、広域的な魅力と合わせて発信し、県内外の多くの方の関心をひきつける。	企画政策課、 商工観光課	継続	継続	継続	継続	【観光基本計画:「愛知県観光協会との協働」として継続実施】・愛知県観光協会と連携して東海道事業を実施した。 【観光基本計画:「東三河広域観光協議会との協働」として継続実施】・東三河広域観光協議会と連携してイベントでのPRを実施した。【商工観光課】
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・県外への情報発信や誘客・物産活動は豊川市単独では難しいため、広域連携での取組も継続する必要がある。
6	シティセールス戦略プランの周知	平成24年8月に策定した豊川市シティセールス戦略プランに基づく取組みが、市民、NPO、地域、企業、大学、行政などに浸透するように基本的な考え方を周知し共有していく。	企画政策課	実施(取組開始)	継続	継続	継続	・広報・シティセールス推進員会議などで職員への周知を図った。
				実施(取組開始)	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。

アクションプラン取組一覧表

大作戦3 とよかわ魅力アップ大作戦

文化・歴史のバリューアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	当初計画(上段)				平成27年度実施内容(上段)
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				進捗状況(下段)				自己評価・課題(下段)
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
1	国分寺、国分尼寺の活用	重要な文化財である国分寺や国分尼寺をわがまちの誇るべき資源とし活用していく。 ・国分尼寺跡史跡公園ボランティアガイド ・天平ロマンのタペ	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	・ボランティアガイドによる国分寺や国分尼寺跡の来訪者への説明ガイドを行った。 ・三河国分尼寺跡史跡公園に多くの方が訪れて知っていただくため、T-Loveサポート隊の協力を得て、「天平ロマンのタペ」を開催した。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。
2	歴史的価値のある神社仏閣の物語性を加えたPR	歴史的価値のある神社仏閣の魅力を際立たせて効果的にPRする。 ・豊川市推奨観光ルートの設定 ・パワースポットの紹介 ・「新版豊川の歴史散歩」の刊行	商工観光課、生涯学習課	実施(取組開始)	継続	継続	継続	【観光基本計画:「神社仏閣のご利益、由緒、パワースポットの紹介」として継続実施】・神社仏閣のご利益、由緒、パワースポットの情報を収集した。【商工観光課】 ・観光協会と連携して、各地区の歴史的価値について講演を実施した。【商工観光課】
				実施(取組開始)	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・神社仏閣など観光資源と絡めたパワースポットや伝承など歴史的な地域資源の掘り起こしが必要である。【商工観光課】
3	平和公園の整備	戦争遺跡を活用した公園を整備し、わがまちの歴史を子孫に語り継ぐとともに、平和都市宣言の主旨に沿って平和を愛する心を育てる。	公園緑地課、生涯学習課	検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	実施(取組開始)	・基本計画に基づき、土木工事についての実施設計を行った。地権者の名古屋大学と用地交渉を行った。【公園緑地課】 ・残存遺構の保存整備や供用開始後の事業化に向けた検討を進めた。【生涯学習課】
				検討・調整・準備	実施(取組開始)	継続	継続	・具体的な整備方針やスケジュールなどについて、関係者との調整が必要になる。【公園緑地課】 ・計画どおり実施できたと評価する。【生涯学習課】
4	地域資源をつなぐ街道紹介	街道を切り口として、地域の魅力を組み合わせつつなぎ効果的にPRする。 ・観光ルートウォーキング ・街道関係のパンフレット作成 ・文化財めぐり	商工観光課、生涯学習課	継続	継続	継続	継続	【観光基本計画:「東海道や姫街道で結ばれた地域との連携」として継続実施】 ・宿場歩きを楽しんでもらう「トコトコ東海道」事業を宿場のある県内自治体等で実施した。【商工観光課】
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・観光ルートウォーキングは、策定から5年経過するため、観光客の嗜好の変化に合わせてルート見直しなどを行い、魅力ある内容で開催することが重要である。

# アクションプラン取組一覧表

## スポーツのパワーアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	当初計画(上段)				平成27年度実施内容(上段)
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				進捗状況(下段)				自己評価・課題(下段)
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
1	高校駅伝の支援	全国高等学校駅伝競走大会に出場している高校を支援することにより、「駅伝のまち豊川」を全国に発信する。	スポーツ課	継続	継続	継続	継続	・大会への出場に際して、豊川高等学校駅伝部(男子・女子)に対し、激励金を支給した。また、大会出場・大会での健闘を称え、市役所構内広告塔へPR看板を掲出するとともに、激励会を市役所ロビーにおいて開催するなどして、「駅伝のまち豊川」を市内外に広く発信した。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。
2	プロバスケットボールチームとのコラボレーション	bjリーグに所属する浜松・東三河フェニックスと連携し、「するスポーツ」「観るスポーツ」「支えるスポーツ」を推進する。 ・バスケットボール教室 ・小中学生への観戦チケット配布 ・フラッグスポンサー	スポーツ課	継続	継続	継続	継続	・プロバスケットボールチームの浜松・東三河フェニックスのフラッグスポンサーとなり、中学生バスケットボール教室や小学生交流会を開催したり、小中学生を対象に観戦チケットを配布したりした。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・希望校に対して、中学生バスケットボール教室、小学生バスケットボール交流会ともに開催することができた。
3	パブリックビューイングの開設	豊川市に縁のある選手やチームが世界規模・全国規模の大会に出場する際に、大型映像投影装置を使って市民が一丸となって応援する。	スポーツ課、中央図書館	継続	継続	継続	継続	・全国高等学校野球選手権愛知大会準決勝戦及び全国高等学校駅伝競走大会に出場する豊川高等学校駅伝部を応援するため、中央図書館内の大型映像投影装置を使ってパブリックビューイングを開催した。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。
4	各種スポーツ大会の誘致開催	陸上競技場をはじめ市内体育施設を活かし、各種スポーツ大会の開催を誘致することで元気な豊川市を発信していく。	スポーツ課	検討・調整・準備	検討・調整・準備	実施(取組開始)	継続	・陸上競技場及び市サッカー場において、大学サッカー春カップを誘致し開催した。
				実施(取組開始)	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・他の市内体育施設においては、体育協会等の既存の大会やイベントが多く飽和状態にあるため、これ以上新規の大会等を開催誘致することが難しい状態である。
5	スポーツ公園の整備	スポーツをととして多くの方が交流できる拠点として、魅力あるスポーツ公園を整備する。	公園緑地課	継続	継続	継続	継続	・用地買収を進めた。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。
6	陸上競技場(第3種公認競技場)の有効活用	レベルの高い競技にも対応できるよう改修した陸上競技場が、多くの方に使ってもらえるように施設運営を行う。	スポーツ課	検討・調整・準備	実施(取組開始)	継続	継続	・陸上競技場において、大学サッカー春カップを誘致し、開催した。 ・陸上競技場においては、市民の「するスポーツ」の振興を図るべく、個人利用者からの要望に応える形で夜間の利用時間を延長し、施設の有効活用に努めた。
				実施(取組開始)	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。
7	総合型地域スポーツクラブの設立育成	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の市民が気軽にスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブを設立育成する。	スポーツ課	継続	継続	継続	継続	・音羽地区、一宮地区に続いて、小坂井地区において新たにクラブを設立することとしており、平成27年度中に設立準備委員会等を開催しクラブ設立の検討を行い、平成28年度設立の目処が立った。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・クラブ設立後は、自主運営できるように支援や育成を行うことが重要である。

# アクションプラン取組一覧表

## 祭り・イベントのショウアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	当初計画(上段)				平成27年度実施内容(上段)
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				進捗状況(下段)				自己評価・課題(下段)
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
1	B-1グランプリの開催	ご当地グルメでまちおこし活動をしている団体が全国から集まるイベントを開催することで、豊川市に人、モノ、お金、情報を呼び込み地域を活性化させる。	商工観光課	検討・調整・準備	実施(取組開始)	完了	完了	完了
				検討・調整・準備	実施(取組開始)	完了	完了	完了
2	市民まつり(おいでん祭、手筒まつり)の充実	三河弁の「おいでん」を名称に取り入れた親しみやすい「おいでん祭」や、東三河地方に古くから伝わる手筒煙火による「手筒まつり」を開催し、充実させていくことでわがまちの魅力を多くの方に発信していく。	商工観光課	継続	継続	継続	継続	【観光基本計画:「大規模公園の有効活用」として継続実施】 ・ホームページ、新聞、ラジオ、雑誌などにより積極的に市民まつりのPRをした。 ・おいでん祭・手筒まつりとも今後の取組みについてワーキンググループで検討した。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・手筒まつり開催のため公共施設の養生など花火対策にかかる費用が多額になってきている。
3	いなり楽市の継続的支援	豊川稲荷周辺に賑わいをもたらすイベントを商店街が自立的に開催できるように継続的に支援する。	都市計画課	継続	継続	継続	継続	・TMO事業を通じた支援や職員ボランティアによる支援を行った。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・TMO事業を通じた商店街主催イベントとして、自立発展させるための支援や職員ボランティアによる支援を行った。
4	地域の祭りの情報発信	祭礼が豊富なわがまちの特長を活かすため、開催情報をタイムリーに発信し、来訪者数の増加につなげる。	商工観光課	継続	継続	継続	継続	【観光基本計画:「神社仏閣の行事紹介」、「お祭りのスケジュール紹介」、「季節ごとの市内のお祭りの紹介」として継続実施】・観光協会と連携してホームページやガイドマップなどにより、開催情報をタイムリーに紹介した。 ・手筒文化の観光ポスターによるPR、東海道の観光ポスターを作成した。
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。
5	地元製造企業と連携したイベント開催	地元製造企業と連携し、地域の強みであるものづくり産業を身近に感じられるイベントを開く。 ・工場見学 ・ものづくり体験	商工観光課	検討・調整・準備	検討・調整・準備	実施(取組開始)	継続	【観光基本計画:「工場見学の推進」として継続実施】 ・観光協会のホームページで、平松食品の工場見学を紹介した。 ・とよかわ観光資源探訪ツアーでメグミルクの工場見学を実施した。
				実施(取組開始)	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・工場見学は、セキュリティ、現場における製品の品質、従業員及び見学者の安全の確保を図るための受入体制を整える必要があり、コストが多額となるため調整が難しい。
6	ミュージアムを核とした文化のまちづくり	開かれたミュージアムを目指し市民の文化の核施設となることで、地域の文化度を向上させる。 ・プリア催事場など他施設と連携した収蔵品展示 ・ミュージアムの改修工事 ・質の高い公演や展覧会を開催	都市計画課、文化振興課	検討・調整・準備	検討・調整・準備	実施(取組開始)	継続	・ミュージアムの事業を文化会館等他の施設で開催した。 ・地域から支えられるミュージアムとなるように協賛企業の募集を行い、13口の申し込みがあった。 ・ミュージアムに親しんでもらえる子ども向けのキッズワークショップを月に1回開催し、毎回定員に達するなど好評を得た。【文化振興課】
				検討・調整・準備	実施(取組開始)	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・他施設での事業は、展示スケジュールの調整やセキュリティの確保などの課題が残った。

# アクションプラン取組一覧表

## 環境・自然のウェイクアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	当初計画(上段)				平成27年度実施内容(上段)
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				進捗状況(下段)				
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	自己評価・課題(下段)				
1	市民協働による自然環境の保全	企業や団体等と連携し協働の仕組みづくりを検討するとともに、環境保全に関わる人材育成や団体支援を行い、豊川市の豊かな自然を守る。 ・ネットワークの構築 ・環境学習講座 ・里山保全リーダー養成講座	市民協働国際課、環境課	継続	継続	継続	継続	・「協働の手引き(市民版)」の浸透・啓発に努めた。【市民協働国際課】 ・各種団体の環境保全活動に対し支援を行った。【環境課】 ・環境学習講座や里山保全リーダー・フォローアップ講座を開催し、豊川市の自然について市民に学んでいただいた。【環境課】
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・市民協働に関する意識啓発を図り、自発的な市民活動の輪が地域に広がるよう促すことが重要である。【市民協働国際課】 ・豊川の自然についての啓発を図り、講座受講者の活躍の場として里山保全団体を設立した。【環境課】
2	山、川、海を観光資源として活用	豊かな自然環境を活かして観光客を呼び込む。 ・宮路山のもみじまつり ・佐奈川の桜と菜の花ウォーキング ・日本最大級の三河湾臨海緑地 ・河川の散策路整備	商工観光課、道路維持課	継続	継続	継続	継続	【観光基本計画:「自然を活用した観光コンテンツの創出」として継続実施】・宮路山を会場としたもみじまつりを観光協会と連携してPRし、本宮山・御津山・観音山・宮路山のハイキングマップでPRした。【商工観光課】 ・佐奈川堤を会場に、観光協会と連携して佐奈川・桜と菜の花ウォーキングを開催した。【商工観光課】 ・三河湾臨海緑地やマリナーについて、ホームページやガイドマップなどで紹介した。【商工観光課】 ・佐奈川散策路を整備するため、整備内容などについて調整を進めた。【道路維持課】
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・他の山、川、海の観光資源を、掘り起こして活用することが必要である。【商工観光課】 ・佐奈川散策路については、危険箇所への対応を検討する必要がある。【道路維持課】
3	アダプトプログラムによる環境美化と緑化推進	市民等が道路や公園などを清掃したり、花の植え替えや植樹をしたりして、愛情を持ってまちをきれいにすることを支援する。	環境課、道路維持課、公園緑地課	継続	継続	継続	継続	・アダプトプログラムの啓発を図った。 ・アダプトサイン(看板)を設置したり、ホームページで活動を紹介したりして、広く周知した。 ・県の補助金を活用し、市民団体に花の苗等を配布した。【公園緑地課】
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・公園や街路の樹木のほか、社寺林など市街地の民間緑地の保全も図りたい。 ・環境美化だけでなく、緑化推進も図ることができる制度となるよう検討する必要がある。 ・県の補助金制度では、各団体の要望を十分満たせないため、市単独の予算措置が必要である。【公園緑地課】
4	巨木や名木の愛護啓発	市内の巨木や名木を調査し、愛護啓発や専門家による保全を行い、次代に引き継ぐことでわがまち豊川市の魅力を高める。	環境課、公園緑地課、生涯学習課	継続	継続	継続	継続	・環境学習講座において、巨木や名木の観察等を行い愛護保全の意識啓発を行った。【環境課】 ・市内の公園を調査し、「花と新緑のみどころ案内」を発行したほか、ホームページにのせた。【公園緑地課】 ・県指定天然記念物の樹木について、専門家の指導のもと市民と協働して樹勢回復作業を実施した。【生涯学習課】 ・国指定天然記念物「御油のマツ並木」について、樹勢回復を図るとともに補植を行った。【生涯学習課】
				継続	継続	継続	継続	・巨木や名木は社寺境内に多く、市が直接保全することは難しい。 ・市民の愛護につなげるため、巨木や名木の効果的なPRを行う必要がある。 ・計画どおり実施できたと評価する。【生涯学習課】
5	赤塚山公園の充実	県外からの来園者も多く人気を誇る赤塚山公園を、さらに親しまれる憩いの場としていく。 ・施設の改修や維持修繕 ・イベントなどの自主事業 ・ホームページやフェイスブックによる情報発信	公園緑地課	継続	継続	継続	継続	・赤塚山公園の老朽化した設備等について取替を行った。 ・フェイスブックによる情報提供を行った。 ・全国都市緑化フェアのサテライト会場としてイベントを実施した
				継続	継続	継続	継続	・計画どおり実施できたと評価する。 ・開園後20年が経過しているため、施設の設備等について計画的な改修が必要である。



# アクションプラン取組一覧表

## 産業・都市基盤のグロウアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	当初計画(上段)				平成27年度実施内容(上段)
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				進捗状況(下段)				
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	自己評価・課題(下段)				
1	企業誘致による工業振興	豊川市の魅力をアピールし優良な企業を誘致することで、自主財源の確保や雇用の創出を図り、地域を活性化させる。	企業立地推進課	継続	継続	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県と連携した再投資促進補助金や平成27年度に創設した御津1区第2期分譲用地企業立地支援制度や固定資産税相当額を交付する奨励金のほか、進出企業の情報提供報奨制度を用意し、優遇策を充実させ積極的に誘致活動を行った。</li> <li>・インテックス大阪で開催される関西機械要素技術展に出展した。</li> </ul>
				継続	継続	継続	継続	
2	まちづくりと連動した商業振興	商店街等が知恵と工夫で賑わいを創出することを支援し、地域に根ざした商業振興を推進する。	商工観光課、都市計画課	継続	継続	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やる気満々商店街等事業費補助金により、商店街のにぎわい創出につながる事業に対し支援を行った。【商工観光課】</li> <li>・中心市街地の活性化事業について、商店街との合意形成を図りながら取り組んだ。【商工観光課】</li> <li>・平成28年度より、新たな賑わいづくりの創出のために新事業の検討準備を実施した。【商工観光課】</li> <li>・市やTMO事業による中心市街地の活性化に資する支援を行った。【都市計画課】</li> </ul>
				継続	継続	継続	継続	
3	地産地消、6次産業化による農業振興	豊川産農作物の知名度を上げ消費拡大を図るとともに、6次産業化を進め地域農業を活性化させる。 ・こだわり農産物 ・農商工連携の検討	農務課	継続	継続	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こだわり農産物を始めとした豊川産農産物について、販売促進・地産地消の推進を図るため、とよかわ農業市(年6回開催)、天平ロマンのタベ及び豊川稲荷東京別院初午祭などのイベントでPR活動をした。</li> <li>・農政企画協議会によりホームページ「うまとよウェブ」の運営啓発を行った。</li> <li>・先進的に産直レストラン、加工品及び農産物の直売所経営などを6次産業化として取り組む農業団体への視察を実施し、普及啓発を図った。</li> </ul>
				継続	継続	継続	継続	
4	大学と連携したまちづくり	大学の知識や人材を活かして、シティセールスの効果があるまちづくりを進める。 ・交流人口や定住人口の増加 ・商店街の景観整備 ・中心市街地の活性化	企画政策課、都市計画課	継続	継続	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の活性化を図るため、商店街の景観整備事業を大学の研究室と協働で実施した。【都市計画課】</li> </ul>
				継続	継続	継続	継続	
5	とよかわ名物の開発	B-1グランプリ後の新たな観光資源になり得る名物を開発をする。	商工観光課	検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	実施(取組開始)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【観光基本計画:「豊川いなり寿司に続く新たな豊川ブランドの創出」、「観光協会のとよかわBRANDプロジェクト事業との連携」として継続実施】・観光協会のブランドプロジェクト事業との連携及び支援を行い、ブランドエンブレムの募集及び採用を観光協会と連携して実施した。</li> <li>・やる気満々商店街等支援事業において、「千両芋スイーツ」の開発・発表イベントの支援を実施した。</li> <li>・平成28年度より「とよかわブランド」に認定された素材、製品等の販路開拓事業への支援を実施する予定。</li> </ul>
				検討・調整・準備	検討・調整・準備	検討・調整・準備	実施(取組開始)	
6	各駅周辺の散策マップ作成	平成21年度に作成したマップ「駅からはじまる物語」を活用するとともに、より使いやすいマップの作成を検討する。	商工観光課	継続	継続	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>【観光基本計画:「鉄道利用と組み合わせたウォーキングコースのPR」として継続実施】</li> <li>・北部地区ウォーキングマップの見直しを行い、駅利用を組み合わせたウォーキングコースを作成した。</li> <li>・東西南北地区の駅を活用したウォーキングマップのPRを実施した。</li> </ul>
				継続	継続	継続	継続	
7	2つの高速道路インターチェンジの優位性をPR	企業誘致やイベント開催などにおいて、交通アクセスの優位性をアピールし、訪れやすいまち、住みよいまちを印象付けていく。	企業立地推進課、商工観光課	継続	継続	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏や関西圏で開催される産業展や県主催セミナー等において、物流ネットワーク拠点としての本市の優位性を積極的にPRした。【企業立地推進課】</li> <li>【観光基本計画:「セールスキャラバンの強化」として継続実施】</li> <li>・東京、大阪、静岡の旅行会社へのセールスキャラバンを実施し、PRした。</li> <li>・観光協会のホームページにおいて、インターチェンジから観光地へのアクセスを紹介した。【商工観光課】</li> </ul>
				継続	継続	継続	継続	

アクションプラン取組一覧表

番号	取組名	取組概要	主管組織	当初計画(上段)				平成27年度実施内容(上段)
				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				進捗状況(下段)				自己評価・課題(下段)
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
8	公共機能が充実した複合商業施設プリオのPR	プリオの利便性を高めるとともに、その魅力を積極的に発信し、中心市街地の賑わい創出につなげる。 ・子育て支援センター ・つどいの広場 ・プリオ窓口センター ・ボランティア・市民活動センタープリオ ・こぎつね教室 ・市民相談室 ・文化協会 ・観光協会 ・催事場(プリオホール) ・プリオ生涯学習会館	子ども課、市民課、市民協働国際課、人権交通防犯課、文化振興課、商工観光課、都市計画課、生涯学習課	継続	継続	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センターでは、来訪者が手軽に子育て情報などを取得できるように情報提供を行った。</li> <li>・つどいの広場では、市内外の子育て中の親子が気軽に立ち寄れる場の提供を行った。</li> <li>・プリオ窓口センターでは、各種証明書等の発行に加えて平成24年度から旅券の申請・交付を行っている。【市民課】</li> <li>・とよかわボランティア・市民活動センタープリオでの市民活動の支援を行った。【市民協働国際課】</li> <li>・外国籍の子どもが日本語を学習するこぎつね教室の活動を行った。【市民協働国際課】</li> <li>・市民相談室では、法律相談を始め9種類の相談を受け付けた。</li> <li>・予約から相談日まで、長期間の日数を要した「法律相談」については、予約方法の改善を図った。</li> <li>・相談日に想定した以上に相談者が訪れていた「女性悩みごと相談」については、予約優先制とした。【人権交通防犯課】</li> <li>・桜ヶ丘ミュージアム改修工事に伴い引き続き文化協会がプリオ5階に移転している。</li> <li>・プリオホールで子ども向けのコンサート「ロバの音楽座」を開催した。【文化振興課】</li> <li>・観光協会の事務所において、観光PRを随時実施、プリオ壁面と利用した観光PRを実施【商工観光課】</li> <li>・TMO事業等により、催事場(プリオホール)のPRパンフレットの作成や、地域活性化のイベント会場として催事場を活用するとともに、壁面広告事業及びネーミングライツ事業を実施し、民間企業との協働を図ることができた。【都市計画課】</li> <li>・発表会、作品展示、講演会等の生涯学習フェスタを開催した。【生涯学習課】</li> </ul>
				継続	継続	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり実施できたと評価する。</li> <li>・公共機能の利用者により商業施設の利用拡大につながったと思われるが、継続して魅力あるビルづくりを進める必要がある。</li> <li>・団体活動室の試行利用制度の周知啓発を努め、団体活動室の利用が図られた。【市民協働国際課】</li> <li>・計画どおり実施できたと評価する。【人権交通防犯課】</li> <li>・観光協会と連携し、プリオを絡めた観光の企画を検討する必要がある。【商工観光課】</li> <li>・関係機関との連携を図り事業を行う必要がある。【都市計画課】</li> <li>・計画どおり実施できたと評価する【市民課】</li> </ul>

アクションプラン取組一覧表

		継続・完了数 ①	実施(取組開始)数 ②	検討・調整・準備数 ③	取組済/全取組 (①+②)/57	取組率 %
当初計画	平成24年度	34	8	15	42 / 57	73.7
	平成25年度	42	5	10	47 / 57	82.5
	平成26年度	47	4	6	51 / 57	89.5
	平成27年度	103	5	6	108 / 57	189.5
進捗状況 (実績)	平成24年度	34	12	11	46 / 57	80.7
	平成25年度	46	6	5	52 / 57	91.2
	平成26年度	52		5	52 / 57	91.2
	平成27年度	52	2	3	54 / 57	94.7